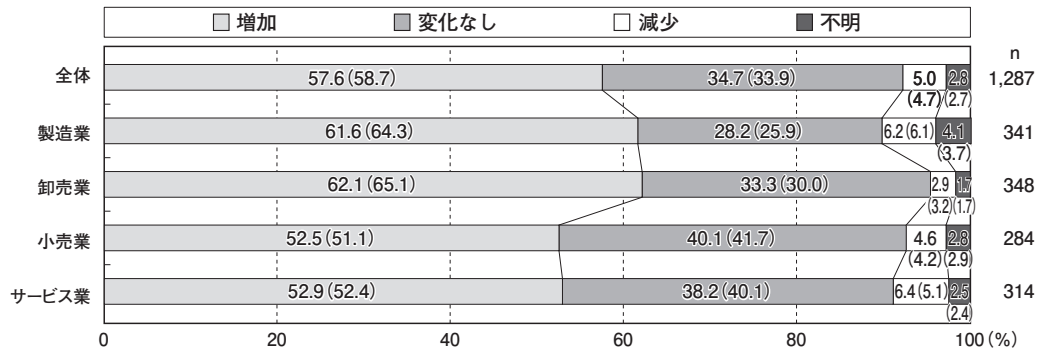


事業活動におけるコストの変動

1. コストの変化（前年同月比）

前年同月と比較した 2026年（令和 8 年）7 月の生産や販売、サービス提供に要するコストの変化を全体でみると、「増加」が 57.6%（前回調査 58.7%）と最も高く、「変化なし」が 34.7%（同33.9%）、「減少」が 5.0%（同4.7%）の順で続いた。

図表 6 コストの変化（前年同月比）



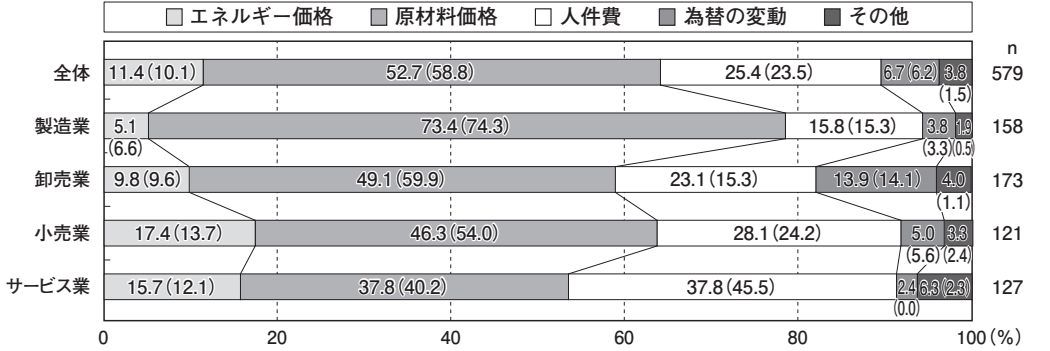
注）無回答を除き集計。（ ）内は前回調査（令和 8 年 7 月）の数値。
四捨五入のため合計が100%にならない場合がある。

2. コスト増加の最大の要因

生産や販売、サービス提供に要するコスト増加の最大の要因を全体でみると、「原材料価格」が 52.7%（前回調査 58.8%）と最も高く、「人件費」が 25.4%（同23.5%）、「エネルギー価格」が 11.4%（同10.1%）、「為替の変動」が 6.7%（同6.2%）の順で続いた。

業種別にみると、他の業種に比べて製造業は「原材料価格」の 73.4%（同74.3%）、卸売業は「為替の変動」の 13.9%（同14.1%）、小売業は「エネルギー価格」の 17.4%（同13.7%）、サービス業は「人件費」の 37.8%（同45.5%）がそれぞれ高い。

図表 7 コスト増加の最大の要因



注）コストの変化（前年同月比）（図表 6）で「増加」と回答した企業のうち無回答等を除き集計。
（ ）内は前回調査（令和 8 年 7 月）の数値。四捨五入のため合計が100%にならない場合がある。